

マナーを守って

住みよいまちに



カラスよけネットが設置されているにもかかわらず、ネットを使用していないため、カラスに荒らされる区内某所のごみステーション

区役所には、ごみの出し方やペットの放し飼いなど、公共のマナーに関するさまざまな苦情が寄せられています。その中には、皆さんが他人への迷惑を省みることで解決するものも少なくありません。公共のマナーは、本来、守って当たり前のことのはずです。そこで今回は、ごみ出しのを中心に「マナー」について考えてみましょう。

ごみ出し

区内に約三千三百カ所あるごみステーション。そこは、ごみを捨てる場所ではなく、収集されるごみの一時的な置き場です。

皆で気持ちよく使うためにも、基本的なマナーを守りましょう。

◆ 分別



「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「びん・缶・ペットボトル」「プラスチック」に分け、それぞれ地域によって決められた曜日に、**中身の見える袋**に入れて出しましょう。

◆ 時間

収集日の朝8時30分までに、ごみステーションに出しましょう。



収集に間に合わなかったごみは、次の収集日まで収集することができません。また、前日にごみを出してしまうと、夜間や早朝、カラ

スに荒らされ、収集に時間が掛かってしまうほか、汚れや悪臭の原因となります。絶対にやめましょう。

◆ スプレー缶



整髪料や殺虫剤、卓上ガスボンベなどのスプレー缶は、使い切らない状態で捨てられると、ガスの圧縮で引火し、収集車の火災を招く恐れがあります。作業する人がけがをしたり、周囲の方に危害を加えたりして大変危険です。

スプレー缶は必ず使い切り、穴を開けて、「燃やせないごみの日」に中身の見える別袋で出しましょう。

◆ カラス対策



ごみ散乱防止策として、カラスよけネットを利用しているステーションも増えてきました。しかし、せっかくのネットも使わなければ効果がありません。自分の出したごみがネットからはみ出していないか、確認しましょう。